

第 14 回 木質科学シンポジウム

テーマ

「木材の超分子構造－化学構造から、ナノ、マクロ物性まで」

趣旨

木材の単離構成成分についての科学的な情報が蓄積している一方、セルロース、マイクロフィブリルとマトリックス（ヘミセルロースとリグニン）よりなる細胞壁のナノ集積構造については不明な点が多く、これからの木材科学として重要な研究分野であると考えられます。本シンポジウムでは、LCC などの化学構造の視点、細胞壁構造、ナノ・マクロ物性の観点から細胞壁のナノ集積構造について議論できればと思います企画させていただきました。

日時：2022 年 6 月 18 日（土） 14:50-18:05

場所：Zoom によるオンライン

講演：

14:50-14:55

ご挨拶

日本木材学会会長 土川 寛

14:55-15:35

「木質バイオマスの NMR 法による構造解析と異種発現した分解酵素による利活用」

片平正人（京都大学エネルギー理工学研究所）

15:35-16:15

「一次細胞壁の超分子構造形成におけるミネラルの役割」

小林 優（京都大学大学院農学研究科 応用生命科学専攻）

16:25-17:05

「ナノセルロースから見えてくる木材の反応性」

遠藤貴士（産業総合研究所 中国センター）

17:05-17:45

「熱分解反応性から見えてくる木材細胞壁ナノ集積構造」

河本晴雄（京都大学大学院エネルギー科学研究科）

17:45-18:00

総合討論

18:00-18:05

閉会のご挨拶

梅澤俊明（京都大学生存圏研究所）